

1 研究主題

一人一人がいきいきと輝く教育をめざして
～言語活動の充実を通じた ユニバーサルデザインの授業づくり～

2 研究の具体

<視点1> 一人一人が主体的に取り組む授業づくり

「分かる」「できる」授業の工夫

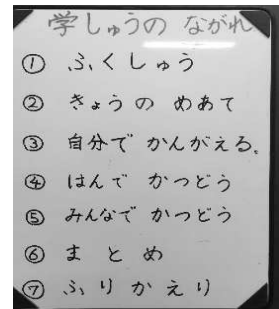
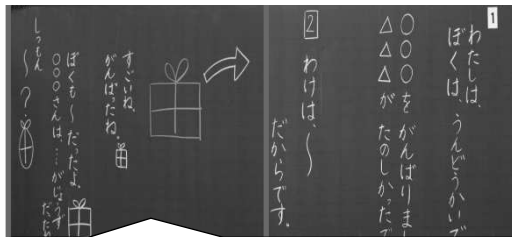
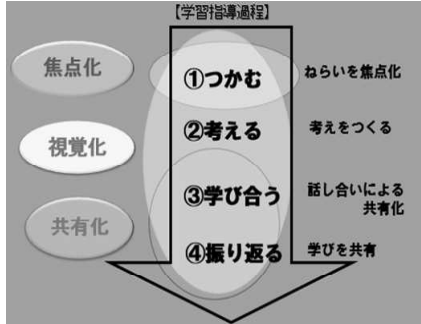
基礎となる言葉の力を高める工夫

学習環境の整備

【ユニバーサルデザインの授業】

【週1回の「話し合いタイム」】

【学習の流れを提示】



友だちの考えを最後まで聞いたり、意見を言ったりすることは、言葉の贈り物だね。

<視点2> 一人一人が安心して楽しく過ごせる集団づくり

発言や行動のルールづくり

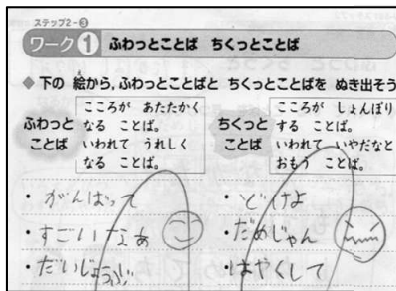
自尊感情を育む学級集団づくり

かかわりを広げる仲間づくり

【ルールの明確化と評価】

【ソーシャルスキルトレーニング】

【学年の枠を超えたかかわり】



<視点3> 一人一人の教育的ニーズに応じた支援

個の教育的ニーズに応じた個別指導の充実

チームによる支援体制の確立

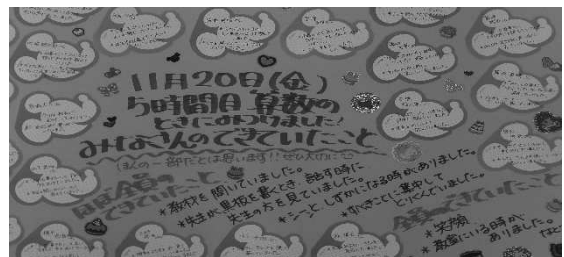
【学習の課題への支援】

【気持ちの安定への支援】

【支援アドバイザーによる WOWW アプローチ】



生活とつないだ半具体物を教材に取り入れます。



3 研究の検証及び改善の手立て

- 一人一人を大切に授業づくりや集団づくりにより、「授業が楽しい」「自分の学級が好きだ」と感じる児童が増加した。
- 満足感を味わえていない児童に対して、更に個に応じた支援が必要である。

<授業は楽しいと思いませんか。>



<自分の学級が好きですか。>

